



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分區 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄



「湖畔雪景色」

脚手 康介

<会長の時間>

急性肝炎の入院の目安はGOT、GPT300以上です。2000というのは相当重症で、さらに悪化する可能性もあります。とりあえず入院する必要がありますが、私が入院すると折茂医院の収入はゼロになりますので、誰か医師を頼まないといけません。私が所属する名古屋大学第一外科の医局長に電話して、入院中の折茂医院の代務を頼みました。大学は原則として個人の医院には代務を出さないことになっているので、医局員と相談をしてから返事します、ということでした。



本来なら飛騨の山奥の個人医院の事などだれも気にしてくれなかったらと思うのですが、久美愛病院時代、院長はじめほとんどの医師がいなくなった間、応援に来てくれた第一外科の医師と一緒に仕事をして、人間関係ができていました。気の毒なので何とかしてやろうではないかということになり応援に来てくれることになりました。これで私の入院中医院を閉めないで済みました。このころ名古屋高山間は車で4時間前後です。皆さんそれぞれ大学での仕事や研究があります。一泊する人もありましたが、かなりの人が日帰りでした。私の病気の方は6月7月になっても肝機能は500から1000の間を行ったり来たりで思わしくありません。折茂医院のほうは医者毎日で変わるので患者さんは日に日に減っていたようです。8月になって大学から医局員は時間のやりくりをして何とかしてきたが、これ以上は無理だという通知がありました。8月は夏休みなので何とかしますということでした。

9月になって私の主治医の内科の医師から退院の許可は出ませんでした。無理に退院しました。折茂医院のほうは薬代とか材料費は支払いを待ってもらっていましたが、破産ギリギリのところに来ていました。退院後は点滴をしながら患者さんが見えた時だけ診察をして、あとは寝ていましたから病院にいるのとあまり変わりません。全身の力が抜けてしまったようで、長い時間すわっておれません。困ったのは起き上がると声がかすれて小さな声しか出ないことです。12月になっても病気のほうは一進一退であまり変化がありません。このころ私の子供が小学生と中学生でしたが、歯医者に行ったら待合室で大人の人が折茂医院は医者が病気だからそろそろ潰れるだろうと話していたが大丈夫なのかと不安そうに聞きます。まさに噂通りに破産に瀕していました。ピンチはチャンスどころか大ピンチに陥っていました。私の病気を治す薬はありません。この状態がどのくらい続くのか予測でき

ません。私は2億円の掛け捨ての生命保険に入っていましたので自殺とわからない死に方を考えながらその年を越しました。
～続きは次回例会にて～

<幹事報告>

◎ガバナーより

- ・2013-14年度ロータリー財団
地区補助金奨学生募集のお知らせ
資格(抜粋) 大卒以上(2013
年3月大学卒業
見込みを含む)、



既に海外の大学あるいは大学院に合格していること。申請時に第2630地区内に居住または本籍がある、もしくは地区内にある大学または大学院に在籍するか職場に勤務しているもの。

奨学金条件 2013年7月から2014年6月までの間の
新学期から修学する事

*ロータリー関係者の家族には申請の資格がありません
受付締切 2013年4月20日

<例会変更>

- 可児 … 4月11日(木)は、春季季節例会のため、
18:30~ おりべ亭 に変更
- 加茂東 … 4月11日(木)は、可茂RC合同お花見同伴例会のため
18:30~、川辺町 かつや に変更
- 5月16日(木)は、定款第6条第1節により、休会

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	35名	8名	43名	52名	82.69%
本日	40名	—	40名	52名	76.92%

奉仕を通じて平和を

例会報告

<本日のプログラム> ニコニコ委員会

ニコニコ委員長 小林 勝一

本日はニコニコ委員会の担当です。

本日の講師に、西永 由典様をお招きいたしました。西永様は昭和13年のお生まれで(74歳)久々野町渚の出身でございます。昭和37年3月に金沢大学法文学部法科を卒業され、同年4月に高山市役所に入られ35年間に渡り勤務され、平成8年4月より8年間高山市収入役として市の重要ポストを全うされておられます。

平成16年4月から高山市宮川を美しくする会の会長を6年間、高山市総合計画審議会 会長を2年間勤められました。

現在は、社会福祉法人高山市社会福祉協議会の会長、岐阜経済大学NPOコミュニテイ論の講師、高山市政策検討市民委員会の委員長を歴任されて見えます。

本日は、「お互いに支え合う社会づくり」について、高齢化が進み独居老人や夫婦だけの老人世帯が増え、日常生活にも支えあいが必要な人がどんどん増加している今日お互いに支え合う[絆]づくりの重要性についてお話をさせて頂きます。



「お互いに支え合う社会づくり」

社会福祉法人高山市社会福祉協議会 会長 西永 由典 様

一昨年の東日本大震災後、お互いに支え合う「絆」づくりが、重要視されるようになり、いざと言う時には、国、県、市の行政機関はなかなか対応が出来ないため、自分のことはまず自分で行動する「自助」と近くの者どうして助け合う「共助」が大事だと強く言われるようになってきました。

一方私達の近くを見渡せば、高齢化が進み、独居老人や夫婦だけの老人世帯が増えてきて、日常生活にも、支えあいが必要な人が年々増加していますし、地域で共同支え合う活動も必要

になってきています。

ただ江戸時代における村落共同体組織や戦前の町内会を中心とした組織ように強制的に活動を促すことも出来ず、その上地域意識も段々薄れてきて、町内会の未加入者が増加するなど、地域組織は弱くなり、さらには近所付き合いもしない方もふえ、かつての俳句にあったように、「隣はなにをする人ぞ」が多くなってきています。

例えば、平成12年に介護保険制度が導入され、それまで家族介護が中心で家族の負担が多い言うことで、社会で介護を分担することになり、特別養護老人ホームが多く出来、一時は問題の解決になったが、年々該当が増え、入所待ちの介護難民が多くなり、一方国も財政が厳しくなってきたため、施設から在宅へと、家族介護へとシフトしてきましたが、その間独居老人率老人世帯が多くなり(老老介護など)家族介護に礼限界がきています。そこで地域住民も含め在宅福祉の社組みづくりが緊急の課題となってきています。

そこで、私達が今取り組むことは、寝たきりや認知症に出来るだけならないように、まず「自助」として、生きがいをもって老後を楽しく過ごすため、趣味やスポーツに積極的に取り組み、また地域で行われる、健康体操や集まり、特に認知症には、人との交流が大切だと言われていきますので参加することです。

ただこの健康づくりの「自助」を促すためには、色々なきっかけづくりが必要で、支援や場づくりをする「公助」率、参加を呼びかけたり、誘いの働きかけをする「共助」が必要となってきます。

この支援の場づくりは地域で形や内容が異なってきます、この場合市などの行政は一律の内容でないと支援できない体質となっていますので、「公助」に代わる公共的な団体や、奉仕団体がその役割を待つようなことが重要となって来ています。アメリカなどではこの傾向が強いです。

たとえば、お年寄りが少人数で集まって、健康づくりの体操をしたり、お互いに話をしたり、趣味の色々なことをするサロンの場を奉仕団体が設置し、運営したり、また運営は専門団体に任せるが支援はするなど「お互いに支え合う社会づくり」への取り組みなどは、今後期待されると思います。

例会報告

<ニコニコボックス>

●折茂 謙一さん

①本日は高山市社会福祉協議会会長 西永由典様よろしくお願
いします。

②昨日は会員増強委員会を堀川さんの素晴らしい船長料理をい
ただきながら行いました。ありがとうございました。

●米澤 久二さん

高山市社会福祉協議会 会長 西永さんようこそいらっしゃい
ました。色々な所でお世話になりありがとうございます。本日
の卓話よろしくお願ひします。

●山下 明さん

高山市社会福祉協議会 西永会長さんの御来訪を歓迎いたしま
す。卓話よろしくお願ひします。

●新田 敬義さん、内田 幸洋さん、阪下 六代さん、斎藤 章さん、 河渡 正暁さん、田中 正躬さん

西永会長様のご来訪を歓迎申し上げます。卓話を楽しみにして
おります。

●小林 勝一さん、垂井 政機さん、小森 丈一さん、平 義孝さん

高山市社会福祉協議会会長 西永由典様 ようこそお出で下さ
いました。本日はよろしくお願ひいたします。

●田近 毅さん

①西永社会福祉協議会長様のご来訪を歓迎申し上げます。卓話
楽しみにしています。

②恒例の「ふれあい高山寄席」を4月17日高山別院で行います。
切符をお買いただける方は塚本君まで。残り僅かです。

●大村 貴之さん

西永様いつもお世話になっています。先日社会福祉協議会へ『エン
ディングノート』を贈らせて頂きました。本日後ろのテーブ
ルに置いておきます。皆様お持ち帰り下さい。

●堀川 和士さん

昨日は、会長幹事はじめ12名の委員、オブザーバーの会員の皆
様、無理やりではございますが船長料理「ほり川」をご利用いた
だき有難うございました。料理は気に入ってもらえましたか？
もっともプロの鴻野さんの援助があったので大変助かりました
とともに勉強になりました。併せてありがとうございました。

●河尻 浩次さん

今月は誕生日と結婚記念日のお祝い、誠にありがとうございました。
気が付いたら、あっという間に25年、銀婚式を迎えて
おりました。堀川さん、昨日は船長料理ごちそう様でした。鴻
野さんお疲れ様でした。

●長瀬 達三さん

欠席ばかりで申し訳ございません。結婚記念のお品をありがと
うございました。



一期一会

垣内 久男

●「今までは海渡精神、今からはプラスロータリー精神」●

●今年12月で56歳となります。岐阜県経済連に勤務してい
●たのですが、夢をかなえるために32歳で退会し、住友生命を
●経由しヤマト運輸で宅急便のドライバーをしながら夢を追っ
●ています。お陰様で昨年、無事故年数18年の表彰を受けにホ
●テルニューオータニに行って来ました。一生無事故が目標で
●す。

●しかし5年前に痛烈で悲しい試練もありました。20歳の長
●男を亡くしたのです。幸い次男は可児市でサラリーマンをして
●頑張っていますし、仕事での長男『イースター海渡』という1
●F駐車場付きの10ルームマンションは7月で11歳。長女
●『YOSA・PARK 海渡』というエステ(東洋西洋医学のミックス
●版・韓国のヨモギサウナ風呂のようなもの。血行を良くし、自
●然治癒力を高める)は11月で6歳。次女『パブ・マブハイ』は
●5月で2歳。皆様方のお陰で少しずつ成長しています。もっと
●もっと心の大きい人になる所存です。ご指導よろしくお願ひい
●たします。

一期一会

東 庄豪

●私の入会を後押ししたのは、日頃からお世話になっている大
●先輩から「僕とこれからの人生を楽しもうよ」の一言でした。
●普段仕事から離れられない自分にとって日々を楽しむという
●思いを発見できずにいたので、どんな世界なのか不安を抱
●えて入会させていただきました。信頼していただき紹介してい
●ただいたのだからと最初の一年は皆勤でRCバッチをいただき
●ました。私は早くに父を亡くしました。小学校低学年だった頃
●は病弱で、当時母は汽車で何度も高山駅前のお医者さんに連れ
●て行ってくれました。今、そのお医者さんとは当クラブで毎週
●同席させていただいています。お陰様で自分は見違えるほど健
●康になりました。母も元気で家族に恵まれ幸せな家庭を築いて
●います。

●まだ、当クラブでは日が浅く本当の楽しみは見つけられてい
●ませんが、諸先輩方との交流から日々感謝する心を教えていた
●だいています。